

新体制で頑張ります！

第1回 本別町農業委員会総会



前列左から、荒哲弘委員、細田昇委員、斎等委員、山西輝美会長、荒木幸造
会長職務代理者、風間進委員、牧田安史委員
後列左から、川初光章委員、中野康夫委員、久常直樹委員、小坂好弘委員、
齊藤一成委員、河野一紀委員、石山ひろのり委員、佐々木幸一委員

会長就任にあたって 本別町農業委員会会長

山西 輝美



日頃より農業委員の活動に対し、ご理解、ご協力、ご支援を賜り心からお礼申し上げます。

去る7月20日の改選により、15名の委員が任命されました。その後に行われた第1回総会において、委員の互選により会長の職を務めることとなりました。心新たに、皆様方のご支援を頂きながら頑張っていきたいと考えていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

まだ今年は大きな天候の崩れもなく、農作物は順調に生育していますが、畜産は高値で推移してきた個体販売価格が値下がり傾向にあり、乳量も昨年の飼料の質の低下が影響し、前年対比マイナスの状況です。これから

の期間に、なんとか回復することを期待したいものです。また、昨年のような異常な長雨や台風に見舞われない事を望みたいです。

現在の農業情勢の課題は、平成31年産から導入予定である農業共済制度の収入保険、人・農地プランの見直し、TPPの問題、そして日EU・EPAと農業者にとって次々と新たな課題が押し寄せてきます。いずれにしても、一喜一憂せずに皆で知恵を出し合い、今までと同様に乗り越えて行くしかないと考えます。

この度は、新人7名を含む15名の委員が任命されました。委員が力を合わせ、農業の振興と農地を守ることを最大の目標とし、活力ある本町の農業・農村の確立を目指して全力で取り組んでいきます。

最後になりますが、皆様方が健康で事故もなく、豊穡の出来秋を迎えられることを切望し、就任のご挨拶と致します。

各部会の構成を紹介します

本別町農業委員会では専門部会を作り、研修や課題の審議、「農業委員会だより」の発行などを行っています。

○農地部会

部長 牧田 安史
副部長 細田 昇
部会員 齋 等

○農業振興部会

部長 風間 進
副部長 荒 哲弘
部会員 佐々木 幸一
石山 ひろのり
川 初光章

仕事

農地法・農業経営基盤強化促進法に基づく、農用地の利用関係の調整、及びその他農地に関する事項について。

活動計画

- ・評価モデル農地の確認
- ・評価表、評価基準等の検討、確認
- ・農用地利用状況調査（農地・パトロール）の実施
- ・学習会、管外研修の実施



仕事

農業に関する振興計画、農業構造改善対策及び意見の公表等に関する事項について。

活動計画

- ・必要に応じ懇談会を開催
- ・農業者年金研修の参加
- ・農業者年金の加入推進
- ・管外研修の実施

○広報委員会

委員長 荒 哲弘
副委員長 牧田 安史
委員 齊藤 一成
中野 康夫

仕事

農地政策をはじめ農政の状況、農業委員の活動について、農業者に対し、正確かつ新鮮な情報を提供していくために、農業委員会だよりを発行する。

活動計画

- ・農業委員会だよりを年2回発行と全戸配布
- ・より親しみやすい紙面作り
- ・各部会との連携強化



氏 名（自治会）	担 当 地 区
佐々木 幸一（拓農）	拓農、上拓農、活込
齋 等（東本別）	本別市街、共栄、共栄1、東本別、上本別
河野 一紀（勇足西2）	勇足西1・2・5
牧田 安史（勇足東4）	勇足東1・2・3・4・5
石山ひろのり（美里別東下1）	美里別東下1・2、美里別高東
荒 哲弘（美里別東中）	弥生町、美里別西中・東中
小坂好弘（美里別西中）	上押帯、美蘭別
久常直樹（勇足西4）	勇足西4、押帯
齊藤一成（チエトイ2）	負籬1・2、チエトイ1・2
細田 昇（仙美里3）	追名牛、木札内、東仙美里、仙美里1・2・3、上仙美里、奥仙美里、美栄
荒木幸造（美里別西上）	美里別西上・東上
風間 進（西仙美里）	西仙美里、新生、明美、月見台、清里

農業委員の担当地区を紹介します
農業委員には、それぞれ担当する地区が決められています。農地の売買や相続など、なにか困ったことがあれば担当地区の農業委員にご相談ください。

はじめての農業委員です！

今回の改選で、新たに任命された農業委員です。

齊藤 一成委員（チエトイ2）

この度、地域の推薦を受け農業委員に任命されました。本町も農業従事者の減少に伴い、農地の流動化が増えると考えられます。新人となりますが、相談者の方には関係ありません。地域、本町の農業の役に立てよう頑張っていきます。宜しくお願い致します。

河野 一紀委員（勇足西2）

この度、勇足西地区の推薦を賜り、農業委員に就任させて頂きました。

経験が浅く、知識も乏しい私自身がこの様な重責を担う役職を務めさせて頂くことに不安はありますが、先輩委員や職員の皆様からのご指導を頂きながら、微力ではありますが本別町農業の発展と農業者のために役立てるよう務めさせて頂きますので、何卒、宜しくお願い致します。

中野 康夫委員（新町）

今回の農業委員の改選にあたり、一般枠で応募し議会の承認を得て、過日任命されました。

従前より農業委員会の業務内容については、農協業務を通じて多少なりとも承知している部分もありましたが、今後は農業委員として優良農地の確保、農地の利用集積など地域農業の為に、権威ある農業委員会の名を傷つけることなく、微力ではありますが務めさせて頂きたく思いますので、宜しくお願い致します。

川初 光章委員（北5丁目）

この度の改選により、非農業者として農業委員に就くことになりました。

前職である、農業関係団体職員時代の経験を生かし、先輩委員のご指導を頂きながら、本別町農業のより一層の発展に尽くしていきます。

農業委員の一員として、微力ながらその責務を果たしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

石山ひろのり委員（美里別東下1）

この度、地域の推薦を頂き農業委員となりました。前回は、空白地区でしたので、他の委員のご迷惑にならないよう努めます。また、次の世代へとバトンタッチしていく事が自分の使命であり、本町農業の発展に繋がることと思います。精一杯務めてまいりますので、よろしくお願い致します。

小坂 好弘委員（美里別西中）

この度、農業団体の推薦を頂き農業委員となりました。地域農業を守るといふ、農業委員の職務の責任の重さ、役割の大きさをひしひしと感じております。

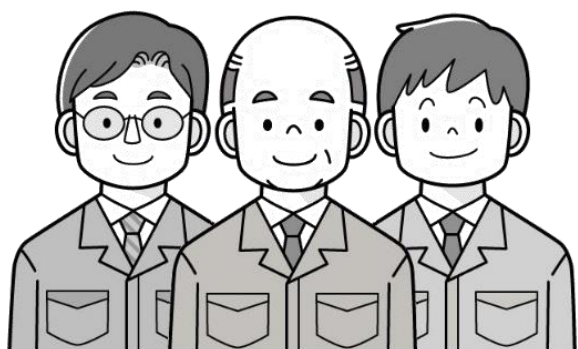
本町農業の発展のため、微力ではございますがお役に立てるよう努力し、務めさせて頂きますので、どうぞ宜しくお願い致します。

久常 直樹委員（勇足西4）

この度、地域の推薦を頂き農業委員に就くことになりました。

私自身、経験がなく不慣れではありますが、先輩委員の方々からご指導を頂きながら、日々勉強していきたいと思っております。

地域農業者のため、少しでも早く役立てるよう努力していきますので、どうぞ宜しくお願い致します。



◇新任農業委員研修会◇

去る8月22日に、帯広市とかちプラザにおいて、十勝農業委員会連合会主催の新任農業委員を対象とした研修会が開催されました。

今回の研修会に参加したのは、農業委員の選出方法が「市町村長の任命制」に変更となつてから、初めて担う委員ばかりです。

当日は、一般社団法人北海道農業会議専務理事の佐久間亨氏より、「農業委員会制度及び農地制度の概要について」をわかりやすく説明していただき、農業委員の立場やどういった職務があるのか等を学習しました。農業委員として、農地法や基盤強化法等の農地制度を早く覚え、役割をしっかりと果たしていかなければならないと感じた研修会でした。



講義を受ける委員の皆さん

◇「目ならし」を行いました◇



評価の仕方を確認しました

農業経営基盤強化促進法に基づく、農地の売買及び賃貸の金額を決定する利用調整の現地調査の練習にあたる、いわゆる「目ならし」を9月1日に行いました。

午前9時頃より、美里別西中の圃場において、全委員が4班に分かれて、表土の厚さや礫の有無、排水性等の10項目について土地評価表に基づき評価しました。今回の改選により、定数15名のうち7名が新任委員ですので、評価に差異が出ないよう、先輩委員とともにしっかりと学習しました。

今後とも、農業者の経営に直接結びつく評価業務について適正な価格を算出するよう務めていきます。

農業者年金で老後への備えを！

農業者年金は、積み立て方式のため積み立てた分を必ず受給することができます。保険料は2万円から6万7千円まで（千円単位で）加入者が自由に選択でき、保険料の額はいつでも変更することができます。月々の掛け金を大きくすることで、将来の受給額を増やすことができます。また、保険料は全額社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税となる優遇措置があります。

農業者年金へは、①国民年金第1号被保険者、②年間60日以上農業に従事、③満60歳未満、これら3つの要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

農業者年金に関するご相談・お問い合わせは、農業委員会またはJAへ

農業委員会 電話 22-8125

編集後記

今年は、昨年とは打って変わって順調に作物が生育しています。小麦については、一昨年以来の量が見込まれ、芋・ビートも高収量が期待できるということです。豆類は8月の日照不足により、若干さやの数が少ないようですが、畑作全般良い秋を迎えられそうです。台風15号が西よりを進んでいけば、北海道に直撃し深刻な事態に陥っていたかもしれないかと思うと、薄氷を踏む思いです。

地球温暖化に起因する異常気象で、雨が降ると1日百ミリを越すことは珍しくなくなりました。今日。今年も本州各地で大変な被害を被っており、線状降水帯では短時間に数百ミリの雨をもたらす、もはや台風よりも怖いかもしれません。そんな中、米国が温暖化対策を定めたパリ協定からの離脱を表明しました。温室効果ガス排出量の世界一・二を争う国が抜けては、益々温暖化への一途をたどるかもしれません。

今後も不安定な気候と付き合いながら、農業をやっていかねばなりません。一年一年、今年はいい年でありまうようにと祈る思いです。今年は何とか最後まで順調に推移して欲しいものです。

広報委員長 荒 哲弘